

第103回

日本脳神経外科学会中部支部学術集会

2023年4月8日(土)
午前8時20分より

会場：ハイブリッド開催
信州大学医学部附属病院 外来棟4階 大会議室
(〒390-8621 長野県松本市旭3-1-1)

会長：堀内 哲吉 (信州大学医学部脳神経外科教授)

事務局長：花岡 吉亀

事務局：信州大学医学部脳神経外科学教室
〒390-8621 長野県松本市旭3-1-1
TEL：0263-37-2690 / FAX：0263-37-0480

【同時開催】

第39回中部神経内視鏡研究会

会 期：2023年4月8日(土) 18:00～ (17:30～世話人会)

会 場：信州大学医学部附属病院 外来棟4階 中会議室

FD 講習会 (ハイブリッド開催：配信形式 ZOOM)

会 期：2023年4月8日(土) 14:20～15:20

会 場：信州大学医学部附属病院 外来棟4階 中会議室

市民公開講座

会 期：2023年4月9日(日) 13:30～15:30 (13時より開場)

会 場：キッセイ文化ホール 中ホール

(〒390-0311 長野県松本市水汲69-2)

【次回ご案内】

第104回日本脳神経外科学会中部支部学術集会

開催日：2023年9月16日(土)

会 場：アクトシティ浜松コンgresセンター (静岡県浜松市中区板屋町111-1)

会 長：黒住 和彦 (浜松医科大学脳神経外科 教授)

事務局：浜松医科大学 脳神経外科

(〒431-3192 静岡県浜松市東区半田山1-20-1)

TEL：053-435-2283 / FAX：053-435-2282

第103回 日本脳神経外科学会中部支部学術集会ご挨拶

この度、第103回日本脳神経外科学会中部支部学術集会を令和5年4月8日（土曜日）に、松本の信州大学医学部附属病院で開催させて頂くこととなりました。前回名古屋で開催された第102回では久しぶりの現地参加が可能となり、中部支部の先生方と交流ができました。やはり、現地での討論や雰囲気は、リモート参加では得られないことが多いことを実感しました。

第103回は前回と同様にハイブリッド開催となりますが、是非松本までお越しいただき対面での座長・発表を可能な限りお願いできればと思います。中部支部会は、若手先生発表の登竜門的な役割と支部内に所属されている先生方の交流の場としても重要だと認識しております。所属施設のご事情により、現地参加が困難な会員の方もいらっしゃると思いますので、リモート参加も可能となるように準備いたします。

4月上旬の松本は、松本城の桜が見どころになっていると思いますので是非ご覧下さい。5月8日には、新型コロナウイルス感染症も2類から5類に移行する予定です。4月はまだ一足早いですが、日常生活を取り戻し多くの先生方と松本でお会いできることを楽しみにしております。

第103回日本脳神経外科学会中部支部学術集会会長
堀内 哲吉
(信州大学脳神経外科 教授)

学会参加者のみなさまへ

第103回 日本脳神経外科学会中部支部学術集会は、COVID-19 感染状況を鑑み、ハイブリッド形式にて開催いたします。

● 参加手続き

学会ホームページ（第103回日本脳神経外科学会中部支部学術集会

<https://convention.kijima-p.co.jp/cb103/>）の「参加登録」よりご登録をお願いいたします。参加登録および参加費のお支払い（オンライン決済）が完了した方に、自動返信メールでIDとPW（パスワード）お送りします。当日、学会ホームページのライブ配信サイトでIDとPWが求められますので、必ず保管してください。

演題発表を行う方も、必ず参加登録を行ってください。

現地対面（会場）での参加登録および参加費の支払いは行いませんのでご注意ください。

演者の方は、可能な限り現地（会場）での参加・発表をお願いいたします。

■ 参加登録期間

2023年1月10日（火）～4月8日（土）

■ 参加費

正会員：1,000 円

初期研修医・大学院生・学部学生：無料

※ 証明書、学生証の提出は不要です。

※ 抄録集：会員の方へは事前送付しています。

※ 抄録集は学会ホームページからもご覧いただけます。

■ 注意事項

お支払いいただいた参加費は理由の如何に関わらず返金いたしませんので、ご注意ください。

■ 領収証・参加証明書について

参加証明書ならびに領収書の発行は会期終了後メールに添付してお送りします。

■ 現地（会場）での登録

学会当日に、日本脳神経外科学会IC会員カードで行いますので、ご持参ください。

参加証は、受付時に発行いたします。

● 専門医クレジット

学術集会参加により学術業績・診療以外の活動実績1単位が適用されます。

● 脳神経外科領域講習（ハイブリッド開催）

4月8日（土）12：00～13：00 ランチョンセミナー【領域講習1単位】

会場：信州大学医学部附属病院 外来棟4階「大会議室」

学術集会参加登録を済ませている必要があります。

※ WEB視聴は、ZOOMのログイン表示名を必ず『名前：専門医番号』としてください。

※ 講習の開始から終了時までの視聴が単位付与および講習修了の要件になります。

※ 遅刻・途中退室は認められません。

● FD（faculty development）コース（ハイブリッド開催）

4月8日（土）14：20～15：20【領域講習1単位】

会場：信州大学医学部附属病院 外来棟4階「中会議室」

平成23年4月施行となりました新規「脳神経外科専門医制度」における専門医・指導医の更新にあたり、本学術集会ではFDコースを上記の通り開催します。

FDコースの受講のみを目的に参加される場合にも、必ず受講前に学会参加受け付けを済ませてください。

※ WEB受講は、ZOOMのログイン表示名を必ず『名前：専門医番号』としてください。

※ 講習の開始から終了時までの視聴が単位付与および講習修了の要件になります。

※ 遅刻・途中退室は認められません。

● 第39回中部神経内視鏡研究会

4月8日（土）18：00～（17：30～世話人会）

会場：信州大学医学部附属病院 外来棟4F「中会議室」

学術集会とは別に、参加費1,000円が必要です。

研究会参加により学術業績・診療以外の活動実績1単位が適用されます。

● 撮影・録音行為の禁止

WEB開催特設サイトに掲載の発表動画のビデオ撮影・録音・写真撮影（スクリーンショットを含む）・ダウンロードは固く禁じます。

- **共通講習（医療安全、医療倫理、感染対策）について**

これらの講習については脳神経外科学会のホームページの会員専用ページにてeラーニングが公開されておりますので、そちらをご利用ください。本会では開催いたしません。

- **優秀演題・ベスト座長賞の選考と発表について**

理事および座長による優秀演題選考、ならびに理事によるベスト座長賞の選考を行います。ご選考いただく先生方へは別途ご案内いたします。

学会参加者のみなさまへ

A. 演者のみなさまへ

● 発表時間

発表 4分 質疑応答 2分

※ 発表時間の厳守をお願いいたします。

● 利益相反 (COI) について

日本脳神経外科学会の規定に従って、必ず開示してください。

発表の際は、発表スライドの2枚目(タイトルの後)に、利益相反の開示を必ず提示してください。掲示いただく様式は下記の通りです。

1) 開示すべきCOIがない場合

開示すべきCOIがない場合のスライド

脳動脈瘤の外科治療(演題名)

日本脳神経外科病院(施設名)

脳外科 太郎(氏名)

筆頭演者は日本脳神経外科学会へ過去3年間のCOI自己申告を完了しています。
本演題の発表に際して開示すべきCOIはありません。

2) 開示すべきCOIがある場合

開示すべきCOIがある場合のスライド

脳動脈瘤の外科治療(演題名)

日本脳神経外科病院(施設名)

脳外科 太郎(氏名)

筆頭演者は日本脳神経外科学会へ過去3年間のCOI自己申告を完了しています。

開示すべきCOIがある場合のスライド

筆頭演者のCOI開示

日本脳神経外科学会へのCOI自己申告を完了しており、過去3年間(いずれも1月～12月)において本講演に関して開示すべきCOIは以下の通りです。

1. 役員、雇用職	なし	} 金額は開示不要
2. 株の保有	なし	
3. 特許権使用料	なし	
4. 講演料	あり(〇〇製薬)	
5. 原稿料	あり	
6. 研究費	あり(〇〇製薬)	
7. 研究費	あり(〇〇製薬)	

日本脳神経外科病院(施設名)

脳外科 太郎(氏名)

● 現地（会場）での発表形式

発表データは、PC本体を持参されるか、メディア（USBフラッシュメモリー）で持参下さい。動画を使用する場合や、Macintoshで発表される方は、必ずご自身のPCを持参ください。コネクターの形状はHDMIです。

可能な限り、現地（会場）での発表をお願いいたします。

● WEB（リモート）での発表形式

■ WEBでの発表までの準備

参加登録・クレジット決済後に自動返信メールでID、PW（パスワード）の案内があります。学会ホームページのライブ配信サイトにログインしてください。ライブ配信サイトの「座長、演者ルーム」にログインし、オペレーターと接続確認などの打ち合わせを行ってください。会を円滑に進行するために早めの対応をお願いします。オペレーターと打ち合わせ後、「視聴用メインルーム」にログインし、オペレーターからパネリストに昇格させますので、承認後入室してください。

最新版のZoomアプリのインストールをお願いします。

詳細はWeb会議システム「Zoom」公式ホームページの「Windows、macOS、Linuxのシステム要件」をご参照ください。

ZoomではWindows、Macに対応しております。サポートされている利用可能な機器（OSのバージョン等）をご確認ください。

Zoom会議システムには、カメラ付きのパソコンとインターネット環境が必要です。

スマートフォン・タブレット等でのご参加はお控えください。

途中でバッテリーがなくならないよう電源アダプターのご用意をお願いします。

■ 参加場所、インターネット環境の準備

周辺雑音や会話が聞こえたり、電話がかかってきて中断することのない、会の円滑な進行に支障のない場所を確保してください。

安定したインターネット環境を確保してください。

Wi-Fiも使用可能ですが、通信が安定しない場合があります。

有線LAN接続を推奨いたします。

■ 付属設備の準備と設定（マイク、スピーカー、Webカメラ）

事前にZoomのオーディオ設定でマイク、スピーカーをテストし、音量を確認してください。

Zoomの音量の他に、PC本体の音量設定も確認してください。

PC内蔵のマイク、スピーカーでも可能ですが、ハウリングやエコーなどトラブルが発生しやすいため、Web会議用のマイク、スピーカー、ヘッドセット（マイク付きヘッドフォ

ンなど) を利用することを推奨いたします。

セッション中はWebカメラでご自身の映像を視聴者に配信いたします。Webカメラのご用意がない場合は音声のみを配信いたします。

■ 発表方法

今回のWEB発表においては画面共有にて、スライドを提示しながら当日指定された時間に発表をして下さい。

ご自分の発表になり、座長から紹介を受けましたら、画面共有をして発表を始めてください。タイムキーパーやストップウォッチはありませんので、**ご自身で時間を厳守(4分)して発表**してください。時間を極めて超過した場合には事務局にて打ち切らせていただくことがありますのでご注意ください。

■ ドレスコードと背景設定

学会発表にふさわしくない服装はお控えください。

背景設定は、皆様の良識に従い、学術会議にふさわしくない背景(リポート写真等)はご遠慮ください。

B. 座長のみなさまへ

■ 司会進行の仕方

事務局の方から前のセッション終了後に、次のセッションのアナウンスと座長のご紹介をいたしますので、ミュートをはずして司会を始めてください。

プログラム通りにタイムキープをしていただきたいですが、時間については、基本的にはご自身で時計をそばに置いてご確認いただきながら進行をお願いいたします。

発表が極めて超過している場合には、割り込んで、演者にまとめと終了を促してください。

忠告を無視する行為がある場合には、事務局が介入してうち切らせていただきます。

■ 質問の受付と対応について

質問は会場に加えて、Zoomの「Q&A」で受け付けます。発表中から「Q&A」を確認し、発表終了後に質問者氏名と質問内容を代読し、質疑応答してください。

多数の質問が来ているときには重要と思われる質問を選んで質疑応答してください。

同じような内容の質問の場合には座長がまとめて一つにさせていただいても結構です。

質疑応答は2分間と限られていますので、要領よく進めていただき、タイムキープにご協力をねがいたします。

C. WEB参加のみなさまへ

■ 視聴方法

参加登録・クレジット決済後に自動返信メールでID、PW（パスワード）が案内されます。学会ホームページのライブ配信サイトにログインしてください。

「視聴用メインルーム」にログインし、Zoomに入室してください。

■ 視聴における守秘義務

なお、本学会（オンライン学会）に参加するにあたりましては、下記の守秘義務の順守をお願いいたしたく、参加の登録をもちましてご同意いただいたものといたします。

氏名、ID他、個人を特定できる情報を掲載・記録しないでください。

写真撮影、録音、録画、プリントスクリーンは禁止いたします。

本会で知り得た、個人を特定可能な情報を公表しないでください。

本会で使用された症例の個人情報の漏洩や改ざんに関して、事務局は一切の責任を負いませんので、演者、視聴者ともに十分ご留意ください。

会議へのweb参加のURL等を主催者に断り無く、非医療従事者、未登録者、参加費未納者などに教えることは絶対におやめください。

もし視聴用URLを他の方へ漏洩した場合には、事務局まで至急おしらせください。場合に

よっては視聴を止めるなどの対応をする場合があります。

■ 質問について

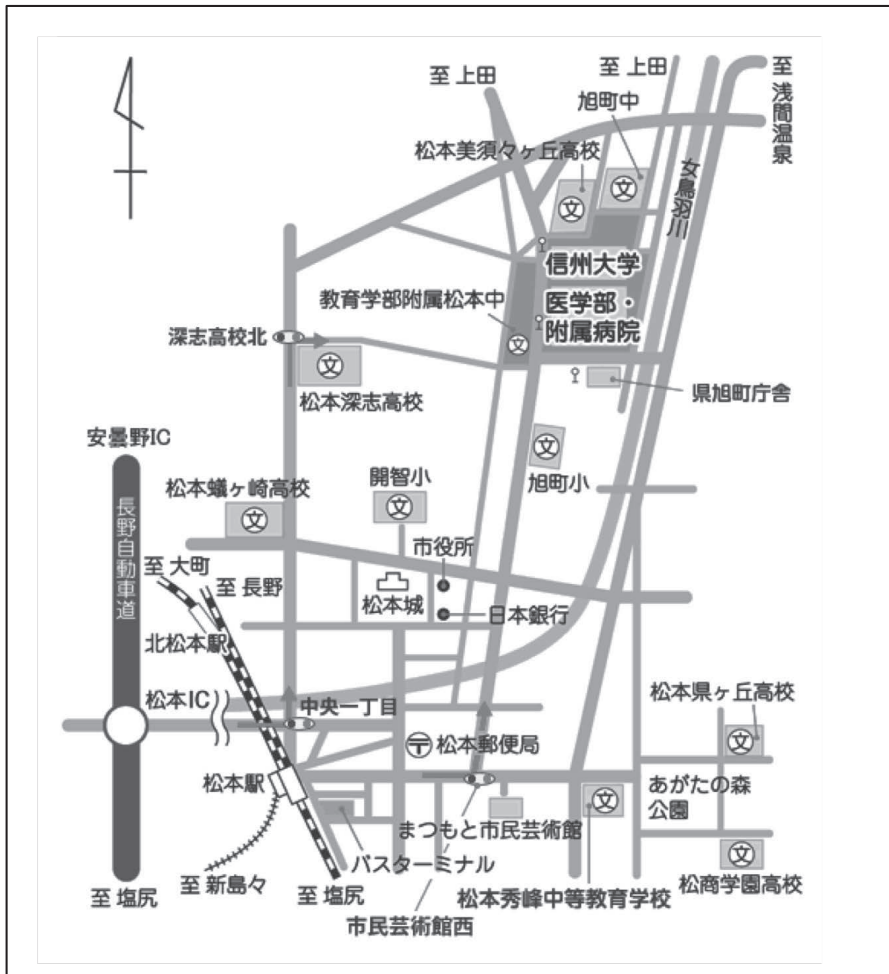
WEB視聴の先生の中で質問やコメントがある場合には、基本的にはZoom画面の下の方にある「Q&A」機能を用いて、打ち込んでください。

この時必ず氏名と所属を入れてください。

座長が取り上げて演者に回答を求めるようになるべくいたしますが、時間の関係上お答えできかねる場合もあることをご了解ください。

皆様には大変ご不便をおかけしますが、コロナとの共存が求められる今、学会のあり方やスタイルも変革が必要とされています。諸般の事情をご賢察いただきまして、変則的な本会が無事終了できますよう、皆様のご支援とご協力を重ねてお願い申し上げます。

交通アクセス



■ 電車でお越しの方

最寄駅は松本駅（JR篠ノ井線）になります。

会場（信州大学医学部附属病院）まではバス（約15分）、タクシー（約10分）などの交通機関をご利用ください。

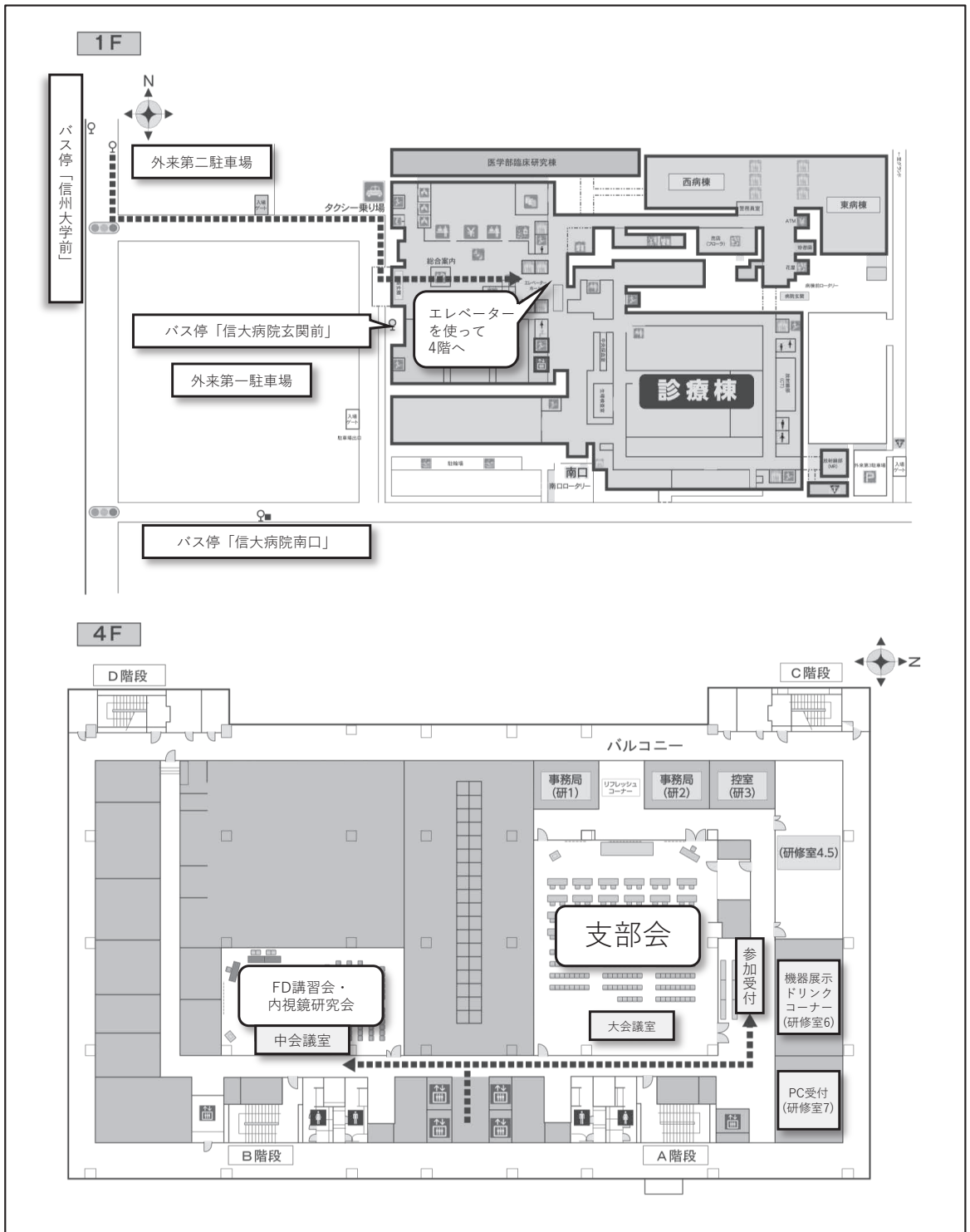
■ バスでお越しの方

1. 松本バスターミナル（ALPICO PLAZA 1階）「信大横田循環線」バスにて「信州大学前」下車（約15分）
2. 「松本駅お城口」バス停から「北市内線バス(西まわり)」にて「信大病院玄関前」下車（約20分）

■ お車でお越しの方

1. 松本インターより約20分
2. 信州大学医学部附属病院駐車場をご利用ください。
(利用料金:入庫後24時間以内200円)

会場アクセス



第 103 回日本脳神経外科学会中部支部学術集会プログラム

8:20～8:25 開会の挨拶

堀内 哲吉 (信州大学)

午前の部

8:25～8:53 腫瘍 1

座長：安達 一英 (藤田医科大学)

1. 二期的手術において腫瘍内静脈還流路の温存が合併症回避に重要と考えられた 脈絡叢乳頭腫の 1 例

○阿部 大志郎¹, 金谷 康平^{1,2}, 木内 貴史³, 小林 澄雄³, 佐野 健司⁴, 堀内 哲吉¹

¹信州大学医学部 脳神経外科, ²信州大学医学部附属病院 てんかん診療部門,

³飯田市立病院 脳神経外科, ⁴飯田市立病院 病理診断科

2. 術前画像診断で粘液乳頭状上衣腫と鑑別困難だった神経鞘腫症の一例

○脇坂 瞳子, 栗屋 堯之, 福岡 俊樹, 坂本 悠介, 太田 佑資, 鈴木 宰

名古屋掖済会病院 脳神経外科

3. 小脳橋角部と脊髄に腫瘤を形成し、脳腫瘍との鑑別を要した 中枢神経ゴム腫の 1 例

○渡邊 亨, 荒木 芳生, 新帯 一憲, 宇田 憲司, 塚田 哲也, 佐々木 博勇, 家永 淳平,
酒井 洋輔, 永谷 哲也, 関 行雄

日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 脳神経外科

4. 頭蓋内骨膜性軟骨腫の 2 例

○加藤 櫻子, 大江 直行, 庄田 健二, 山田 哲也, 中山 則之, 岩間 亨

岐阜大学 脳神経外科

座長：^{ショウダ ケンジ}庄田 健二（岐阜大学）

5. 高頻度てんかん発作を合併した低悪性度神経膠腫に対する深部電極による
フェンスポスト法を用いた摘出術

○^{クモシ マサノブ}公文 将備，中江 俊介，寺西 隆雄，大場 茂生，廣瀬 雄一
藤田医科大学医学部 脳神経外科

6. 脳小脳転移，脳浮腫により致命的な経過をたどった縦隔原発胚細胞腫瘍の一例

○^{ヒラヤマ ケンゴ}平山 顕吾，川口 知己，長田 泰広，若林 正浩，大塚 崇史，若林 健一，雄山 博文
豊橋市民病院 脳神経外科

7. 乳癌の頭蓋骨転移に関する臨床病理学的考察：脳転移との比較

○^{モリタ カズヤ}森田 一矢¹，笹川 泰生¹，阪口 真希²，中田 聡子²，田中 慎吾¹，中田 光俊¹
¹金沢大学 脳神経外科，²金沢大学 病理診断科

8. 後頭蓋窩術後の後頭動脈領域の皮弁壊死リスクについて

○^{ヤマシロ ケイ}山城 慧¹，大見 達夫¹，若子 哲¹，東口 彩映子¹，定藤 章代²，早川 基治¹
¹藤田医科大学 岡崎医療センター 脳神経外科，²藤田医科大学医学部 脳神経外科

座長：^{ツツイ タイシ}筒井 泰史（金沢大学）

9. 破裂内頸動脈-重複中大脳動脈瘤に対し開頭クリッピング術を施行した一例

○^{ユウケン ユウタ}纈纈 雄太，住友 正樹，河村 彰乃，野平 翔太，後藤 智哉，立花 栄二
豊田厚生病院 脳神経外科

10. Vertebral rete mirabile (VRM) に合併した右椎骨動脈瘤破裂による
くも膜下出血の1例

○^{ハヤシ ユウキ}林 裕樹，西川 祐介，山中 智康，内田 充，間瀬 光人
名古屋市立大学医学部 脳神経外科

11. 左腕頭静脈閉塞による頭蓋内静脈逆流で脳出血をきたした透析患者の1例

○佐々木^{ノゾミ}望^{ササキ}，平松 拓，長谷川 義仁，澤田 元史
松波総合病院 脳神経外科

12. 肘正中皮静脈アプローチでの経静脈塞栓術；1例報告

○田村^{タムラ}貴光^{タカミツ}¹，佐々木 建人¹，宮谷 京佑¹，田中 里樹¹，山田 康博¹，小松 文成¹，
加藤 庸子¹，大久保 麻衣²，片山 朋佳²
¹藤田医科大学ばんだね病院 脳神経外科，²藤田医科大学 中央診療部 FNP 室

9:52～10:27 血管 2

座長：川口^{カワグチ}礼雄^{レイオ}（愛知医科大学）

13. もやもや病に対する複合血行再建術後に発生した中硬膜動脈仮性動脈瘤に対して血管内治療を実施した一例

○丸山^{マルヤマ}邦隆^{クニタカ}¹，柏崎 大奈²，秋岡 直樹²，堀 恵美子²，山本 修輔²，黒田 敏²
¹富山大学医学部 脳神経外科，²富山大学 脳神経外科

14. 腫瘍との診断を要し、血管内治療で奏功した小脳動静脈短絡疾患の1例

○久保^{クボ}裕昭^{ヒロアキ}，服部 健一，伊藤 里紗，和田 健太郎，藤谷 繁，波多野 寿
日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院 脳神経外科

15. FREDの内層が内反変形をきたしたと推定される一例

○鈴木^{スズキ}啓太^{ケイタ}，泉 孝嗣，西堀 正洋，石川 晃司郎，今岡 永喜，松野 宏樹，横山 勇人，
羽生 健人，齋藤 竜太
名古屋大学 脳神経外科

16. 外頸動脈にステント留置術を行った一例

○左合^{サゴウ}史拓^{フミヒロ}，前田 憲幸，高須 俊太郎，竹本 将也，秋 禎樹，池澤 瑞香，宗宮 大輝，
道場 浩平，池田 公
JCHO 中京病院 脳神経外科

17. 末梢動脈に生じた破裂微小動脈瘤に対するNBCA塞栓術

○酒井^{サイカイ}洋輔^{ヨウスケ}¹，塚田 哲也¹，渡邊 亨¹，家永 惇平¹，佐々木 博勇²，宇田 憲司¹，
新帯 一憲¹，荒木 芳生¹，永谷 哲也¹，関 行雄¹

¹日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 脳神経外科，²名古屋大学 脳神経外科

座長：種井 隆文^{タネイ タカフミ}（名古屋大学）

18. 亜急性期に ITB 療法を施行した 3 例

○蜂谷 慶^{ハチヤ ケイ}，野田 智之，西田 恭優，川端 哲平，今井 資，榎 英樹
大垣市民病院 脳神経外科

19. 脳底動脈による圧迫で三叉神経痛をきたした一例

○山本 力義^{ヤマモト リキヨシ}，飯田 知宏，野村 悠一，岡 直樹，石澤 錠二，郭 泰彦
朝日大学病院 脳神経外科

20. 顔面痙攣において REZ より遠位の血管圧迫が原因と示唆された 3 症例の検討

○平山 隄土^{ヒラヤマ ケント}，加藤 丈典，内藤 丈裕，水野 晃宏，大竹 拓実，丹羽 洋天，長谷川 俊典
小牧市民病院 脳神経外科

21. 初診からのオンライン診療で 3 ヶ月間対面診療なしに治療した頭痛患者 8 例

○勝木 将人^{カツキ マサヒト}
こむぎの森頭痛クリニック，諏訪赤十字病院 脳神経外科

22. 頭痛 AI 問診こむぎ（商標・特許出願中）の開発およびその精度

○勝木 将人^{カツキ マサヒト}^{1,2}，松森 保彦³
¹こむぎの森頭痛クリニック，²諏訪赤十字病院 脳神経外科，³仙台頭痛脳神経クリニック

座長：小泉 慎一郎^{コイズミ シンイチロウ}（浜松医科大学）

23. 神経内視鏡手術を施行した松果体部および松果体近傍腫瘍の 5 例

○熊谷 駿介^{クマガイ シュンスケ}，吉田 至誠，土屋 尚人，吉村 淳一
長野赤十字病院 脳神経外科

24. 動眼神経麻痺で発症した虚血性下垂体卒中に対して保存的加療を選択した一例

○井上 翼^{イノウエ ツバサ}，山村 泰弘，松井 秀介
焼津市立総合病院 脳神経外科

25. 腰椎腹腔短絡術を施行した両側横静脈洞閉塞を伴う特発性頭蓋内圧亢進症の一例

○^{タイシャク アツヒト}帝 釋 敦仁, 大野 貴之, 岩田 卓士, 柴田 広海, 相原 徳孝
名古屋市立大学医学部附属東部医療センター 脳神経外科

26. 視床出血、脳室穿破による閉塞性水頭症に対し脳室ドレナージ術を施行後、脳室内に rt-PA を注入、良好な血腫融解を得た一例。

○^{オオノ タカト}大野 貴都¹, 岡田 健¹, 遠藤 乙音¹, 藤井 健太郎¹, 石崎 友崇², 川崎 裕一¹
¹愛知県厚生連海南病院 脳神経外科, ²名古屋大学 脳神経外科

27. 水頭症シャント術において再建術を要した症例の検討

○^{ムラバヤシ ナオキ}村 林 直樹¹, 鳥飼 武司², 堀田 龍矢², 北村 拓海², 庄田 幹², 松尾 州佐久²
¹中東遠総合医療センター 臨床研修センター, ²中東遠総合医療センター 脳神経外科

11:40～11:50 第 102 回優秀論文賞・ベスト座長賞発表

【優秀論文賞】

演題名 再発慢性硬膜下血腫の治療における当院での工夫

○^{ニシダ ヤスマサ}西田 恭優
大垣市民病院 脳神経外科

演題名 咀嚼筋間隙から発生した Malignant PEComa の一例

○^{ノノ アカリ}野呂 朱里
鈴鹿回生病院 脳神経外科

演題名 VNS 術前評価としての迷走神経可視化の試み

○^{クモン マサノブ}公文 将備
藤田医科大学医学部 脳神経外科学講座

【ベスト座長賞】

○^{ホリ エミコ}堀 恵美子
富山大学医学部 脳神経外科

午後の部

12:00～13:00 ランチョンセミナー

座長：堀内 哲吉（信州大学）

大学病院・総合病院勤務の脳神経外科医が行う頭痛診療
～もう1つのサブスペシャリティーとしての頭痛専門医のすすめ～

イシカワ エイチ
石川 栄一

筑波大学医学医療系 脳神経外科

共催：第一三共株式会社

13:10～13:55 スポンサーシンポジウム

座長：岩間 亨（岐阜大学）

治療困難な脳動脈瘤の治療とくも膜下出血の術後管理

クロダ サトシ
黒田 敏

富山大学学術研究部医学系 脳神経外科学

共催：イドルシア ファーマシューティカルズジャパン株式会社

14:20～14:48 腫瘍3

座長：渡邊 卓也（金沢医科大学）

28. 開頭腫瘍摘出術後に免疫チェックポイント阻害剤で全身治療を行った
肺がん脳転移患者の治療成績

デグチ ショウイチ
○出口 彰一，鈴木 崇宏，三矢 幸一，林 央周
静岡県立静岡がんセンター 脳神経外科

29. 眼窩側方到達法にて全摘出した類皮腫の2例

ヤマタカ モトキ
○山高 元暉，植木 泰仁，牧野 健作，池村 涼吾，眞上 俊亮，中尾 保秋，山本 拓史
順天堂大学医学部附属静岡病院 脳神経外科

30. テモゾロミド併用寡分割放射線治療後に全身性カンジダ膿瘍を合併した 高齢者初発膠芽腫の1例

○楠部 鴻介¹, 木下 雅史¹, 佐藤 保則², 森田 一矢¹, 玉井 翔¹, 中田 光俊¹
¹金沢大学 脳神経外科, ²金沢大学 人体病理学

31. 肺がんからの Dormant Brain Oligometastasis に関する治療成績の検討

○鈴木 崇宏, 出口 彰一, 三矢 幸一, 林 央周
静岡県立静岡がんセンター 脳神経外科

14:49~15:17 腫瘍4

座長：北野 詳太郎 (三重大学)

32. 症候性てんかんで発症した嗅溝部神経鞘腫の1例

○木村 智輝¹, 山田 慎太郎¹, 細田 哲也¹, 小寺 俊昭², 新井 良和¹
¹市立敦賀病院 脳神経外科, ²福井大学学術研究院医学系部門医学領域 脳神経外科学分野

33. 頭蓋骨外に伸展した異型髄膜腫の一例

○川尻 智士, 月輪 悠, 田井 克英, 四方 志昂, 木戸口 正宗, 赤澤 愛弓, 山内 貴寛,
東野 芳史, 磯崎 誠, 有島 英孝, 菊田 健一郎
福井大学学術研究院医学系部門医学領域 脳神経外科学分野

34. 脳神経外科手術のデジタルイラストレーション作成の有用性

○土屋 貴裕, 小野 秀明, 川西 朗弥, 佐々木 佑太, 菊池 洋大, 谷島 健生, 田村 晃,
斎藤 勇
富士脳障害研究所附属病院 脳神経外科

35. 顔面神経麻痺で発症した小脳橋角部膿瘍の1例

○村松 佑亮, 島戸 真司, 中村 茂和, 太田 慎次, 加藤 直毅, 渡邊 和彦
半田市立半田病院 脳神経外科

座長：^{カシワザキ ダイナ}柏崎 大奈（富山大学）

36. 妊娠中期に出血で発症した脳動静脈奇形の一例

○^{ゴトウ フキ}後藤 芙希, 黒田 祐輔, 寺島 美生, 梅田 靖之, 亀井 裕介
三重県立総合医療センター 脳神経外科

37. 視力視野障害で発症した視神経/視交叉部における AVM の 2 例

○^{タカタ ショウ}高田 翔¹, 飯塚 秀明¹, 笹川 泰生², 白神 俊祐¹, 吉川 陽文¹, 渡邊 卓也¹, 林 康彦¹
¹金沢医科大学 脳神経外科, ²金沢大学 脳神経外科

38. 頸部姿勢に伴う椎骨動脈の可逆的閉塞により vertebral artery stump syndrome が生じた一例

○^{ハセガワ タカシ}長谷川 貴士, 青山 慎平, 北原 孝宏, 山本 優, 取越 貞治, 早瀬 睦, 西村 真樹
福井赤十字病院 脳神経外科

39. 椎骨動脈の動的狭窄により生じた血栓による Bow Hunter Syndrome の 1 例

○^{タグチ ヨウタロウ}田口 幸太郎¹, 竹中 俊介¹, 松田 章秀², 森嶋 孝文¹
¹浜松労災病院 脳神経外科, ²岐阜市民病院 脳神経外科

座長：^{インザキ マコト}磯崎 誠（福井大学）

40. Flow Diverter 留置後の遅発性脳動脈瘤破裂による内頸動脈海綿静脈洞瘻の 1 例

○^{イチカワ トミノリ}市川 智教¹, 当麻 直樹¹, 矢合 哲士¹, 水谷 尚史², 宮崎 敬大¹, 藤本 昌志¹, 三浦 洋一¹,
安田 竜太¹, 鈴木 秀謙¹
¹三重大学大学院医学系研究科 脳神経外科学, ²市立四日市病院 脳神経外科

41. 症候性眼動脈 dolichoectasia に対して塞栓術を行った 1 例

○^{オオイシ トモキ}大石 知也, 根木 宏明, 望月 悠一, 神尾 佳宣, 坂本 量哉, 橋本 宗明, 黒住 和彦
浜松医科大学 脳神経外科

42. 頸部頸動脈狭窄におけるプラーク破綻の血行力学

- 伊藤 翔太¹, 池澤 宗成¹, 山本 陽子¹, 古川 和博¹, 田中 克浩¹, 石田 藤麿¹, 鈴木 秀謙²
¹三重中央医療センター 脳神経外科, ²三重大学 脳神経外科

43. Terminal type の動脈瘤に対する WEB の有用性

- 井面 利昂¹, 大島 共貴², 松尾 直樹¹, 川口 礼雄¹, 猪奥 徹也¹, 横田 麻央¹, 宮地 茂¹
¹愛知医科大学 脳神経外科, ²愛知医科大学 脳血管内治療センター

44. 90 歳以上の超高齢者の急性期脳梗塞に血栓回収療法を行った 4 例

- 齋藤 匠¹, 野田 靖人, 渡邊 充祥, 橋本 啓太, 小島 アリソン 健次
富士市立中央病院 脳神経外科

16:23~16:51 血管 5

座長：山中 智康 (名古屋市立大学)

45. 初期研修医および 1 年目専攻医による脳血管内手術

- 正村 啓二郎, 見崎 孝一, 一ノ瀬 惇也, 上出 智也, 筒井 泰史, 中田 光俊
金沢大学 脳神経外科

46. RCVS を発症し減圧開頭術にまで至った症例の考察

- 吉澤 勇輝, 竹内 一生, 奥村 衣里子, 圓若 幹夫
中部労災病院 脳神経外科

47. 舌骨と甲状軟骨の後内側を内頸動脈が走行する内頸動脈狭窄症に対し 頸動脈内膜切除術を行った 1 例

- 藤井 健太郎¹, 岡田 健¹, 遠藤 乙音¹, 川崎 裕一², 大野 貴都¹
¹愛知県厚生連海南病院 脳神経外科, ²名古屋大学 脳神経外科

48. ICT を活用し急性期脳卒中のチーム医療を効率化する取り組み

- 松本 省二¹, 中原 一郎¹, 盛岡 潤¹, 長谷部 朗子¹, 田邊 淳¹, 陶山 謙一郎¹,
渡邊 定克¹, 沖田 慎平¹, 青木 満¹, 安田 あゆ子², 小山 裕司³
¹藤田医科大学医学部 脳卒中科, ²藤田医科大学病院 医療の質・管理室,
³東京都立産業技術大学院大学 産業技術研究科

座長：金谷 康平（信州大学）

49. 頭蓋底骨折受傷後に遅発性に脳実質内気脳症を認めた一例

○佐藤 史崇^{サトウ フミタカ}，川路 博史，中戸川 裕一，林 正孝，山添 知宏，稻永 親憲
総合病院聖隷浜松病院 脳神経外科

50. 中硬膜動脈塞栓術が奏功した急性硬膜外血腫の2例

○高沢 弘樹^{タカザワ ヒロキ}¹，北林 朋宏¹，新井 政幸¹，赤井 卓也²
¹厚生連高岡病院 脳神経外科，²富山大学医学部 脳神経外科

51. 部分摘出と硬膜拡大形成で症状改善を得た Non-dysraphic spinal lipoma の一例

○阿部 節^{アベ タカシ}，西村 由介，永島 吉孝，石井 元規，深谷 宜央，西井 智哉，加藤 寛之，
齋藤 竜太
名古屋大学 脳神経外科

52. 3mm の上位胸椎骨棘により脳脊髄液漏出症および前脊髄動脈解離によるくも膜下出血を生じた1例

○猪俣 裕樹^{イノマタ ユウキ}¹，伊東 清志²，堀内 哲吉¹
¹信州大学医学部 脳神経外科，²社会医療法人財団慈泉会相澤病院 脊髄脊椎センター

黒住 和彦^{クロズミ カズヒコ}（浜松医科大学）

堀内 哲吉^{ホリウチ テツヨシ}（信州大学）

